

祇園小学校 校長だより（第74号） 令和2年度第15号 令和2年11月2日

校訓 「高い理想 清い心 熱い想い」 文責 校長 中原弘之

学校教育目標 「学校と地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

## 秋に伸びる

かつて、社会体育のサッカーの指導をしていました。夏の暑さの中で頑張ったサッカー少年たちは、これまで培った技や力、精神力等をもとに、秋には成長した姿をみせてくれました。その後の冬に向けては、たくましさや頼もしさを感じるまでに成長を遂げていました。

本校児童も、4月の入学や進級の時に比べると、ずいぶん成長したと感じています。体育授業参観（運動会）では、その成長の一端をご覧いただけるものと思っています。他の子と比べるよりは、我が子の成長ぶりを感じていただければ幸いです。また、「食欲の秋」とも言います。バランスよくしっかり食べて、成長する土台となるからだをつくってほしいとも思っています。

## 「自制心」が人生を成功に導く

『学力』の「経済学」（2015年、中室牧子著、ディスカヴァー・トゥエンティワン）という本があります。著者の中室牧子さんはデータを用いて教育を経済学的に分析している教育経済学者です。この本の中に、アメリカの心理学者が実施した「マシュマロ実験」の紹介がありました。186人の4歳児にマシュマロを出し、「いつ食べてもいいけど、大人が部屋に戻ってくるまで我慢できればマシュマロを2つ食べられますよ」とだけ伝えて、大人は退室したそうです。15分後に大人が戻ってきた時、3分の1の園児は15分我慢して2つのマシュマロを手に入れることができたそうです。その後の追跡調査の結果、高校生になった時の学力調査では、我慢して2つのマシュマロを手に入れた子どもの方がスコアがずっと高かったそうです。本書には、「人生を成功に導くうえで重要だと考えられている能力のひとつは『自制心』です」と述べてあります。

本人の人生が豊かになると共に、周りの人々や社会を豊かにするためにも「自制心」は大切だと思います。子どもも大人も「自制心」を大切にしていきたいものです。

## 祇園歴史の旅（その74）「14周年の祇園小とその時代」

祇園小学校沿革史によると、平成27年8月3日パソコン室LAN工事、平成28年2月13日全日本学校歯科保健優良校表彰とあります。これまでの健康教育、特に歯科保健の積み重ねが全国表彰へと結実した年でした。

また、インターネット記事によると、当時の主な出来事は次のとおりです。平成27年7月5日「明治日本の産業革命遺産」世界文化遺産登録決定、7月20日アメリカとキューバ54年ぶり国交回復、8月15日戦後70年の終戦の日、10月5日大村智氏ノーベル医学・生理学賞受賞、10月6日梶田隆章氏ノーベル物理学賞受賞、平成28年3月26日北海道新幹線開業。

次回は、「15周年の祇園小とその時代」と題して、15周年年度の祇園小学校の出来事や平成28年4月～29年3月までの日本内外の主な出来事をご紹介します…。